

## 思いやりの心

校長 嶋見 靖之

令和3年が始まりました。本年もよろしくお願いいたします。

3学期始業式では「丑年には、先を急がず目の前をこつこつと進めることが将来の成功につながると言われています。めあてに向かって一步一步歩み続けましょう。」と話しました。

さて、新型コロナウイルス感染拡大は第3波といわれる波の中です。一日も早い収束を願い行動していきたいものです。

昨年10月の全校朝会で「新型コロナウイルスの3つの顔」という話をしました。日本赤十字社のホームページに公開されています。このウイルスには負のスパイラルを生む3つの感染症の顔があり、それらは「病気」「不安や恐れ」「嫌悪・偏見・差別」であると説明しています。10月の全校朝会では次のように話しました。

新型コロナウイルスは、目に見えないのでどこにいるか分かりません。だから、自分が感染するのでは、人に感染させるのではと心配になります。これが不安です。すると、自分が感染するのを防ぐために、人に攻撃を始めてしまうのです。ウイルスは見えないので、ウイルスをもっているかもしれない人を攻撃してしまうのです。これが偏見・差別です。ふざけて言うのも同じです。「そうだそうだ」と同調する人も出てくる場合があります。差別をされた人はつらい気持ちになり、動けなくなります。病院に勤めている人が動けなければ救える命も救えなくなります。また、差別されるのがいやだと言って感染を隠す気持ちになります。そうすると感染が広がってしまうのです。

この負のスパイラルを断ち切るのは「思いやりの心」だと私は思います。それは、人を認め（多様性）人を許す（寛容性）ことだと思います。相川小学校の校訓「仁」そのものです。「仁」を育てることが感染を拡大させないことにもなります。今年も家庭・地域の皆様とともに「仁」を育てていきたいと考えています。